

2023年度
冬号

第210号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

開催します

◆年末年始の休館日：12月29日(金)～1月3日(水) ◆1月4日(木)から開催します

NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立15周年
・市民協働センター開設20周年記念事業

“協働”の次にくるもの

～これからの中間支援のあり方を考える～

開催日：2023年12月2日(土)・3日(日)

三鷹市市民協働センターは12月に開設20周年を迎えるにあたり、記念事業を開催します。

「つなぐ・ささえる・つむぎだす」というセンターの3つの機能を果たしつつ様々な新しい取り組みを積み上げてきた一方で、20年前とは社会のあり方は大きく変容しました。

そうした中で市民協働センターがどのような役割を果たしていくべきか、さらにはどのような新しい価値を持たせていくべきか。これまでの歩みを踏まえながら、ぜひ多くの皆さまと考えていきたいと思えます。

12月2日(土) 12:45～17:00

式典 ※招待者のみ
基調講演

講師：松原 明さん
(NPO法人協カアカデミー代表)

パネルディスカッション
懇親会



12月3日(日) 13:00～17:00

市民団体活動発表



だれでも大交流会

《会場》

三鷹市市民協働センター

〒181-0013
東京都三鷹市下連雀4-17-23
TEL：0422-46-0048
FAX：0422-46-0148



申込フォーム



主催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク

〈1ページ〉開催します「周年記念事業『“協働”の次にくるもの～これからの中間支援のあり方を考える～』」〈2ページ〉周年記念事業プログラム
〈3ページ〉開催しました「第6期 三鷹『まち活』塾(6～10回)」〈4ページ〉中学生職場体験の生徒さんを受け入れました

周年記念事業プログラム

12/2 (土) (定員80人 事前申込先着制)

ーオープニングー

12:45～ ICU Bell Peppersによるハンドベル演奏

ー第1部ー

13:00～ 式典 ※招待者のみ

ー第2部ー ※参加費1,000円

13:50～ 基調講演 “協働”の次にくるもの ～これからの中間支援のあり方を考える～

講師：松原 明さん (NPO法人協カアカデミー代表)

1960年大阪府生まれ。神戸大学文学部哲学科社会学専攻卒。広告制作会社、事業開発コンサルタントを経て、1994年、NPO法立法を推進するシーズ・市民活動を支える制度をつくる会を創設。NPO法、認定NPO法人制度、NPO法人会計基準、寄付税制拡充などの制度創設・改正を推進。また、多くの自治体のNPOとの協働制度創設にも携わる。NPO支援財団研究会、日本ファンドレイジング協会、東日本大震災支援全国ネットワークなどの創設にも携わった。2023年、協力のテクノロジーの開発普及を行う「NPO法人協カアカデミー」を設立。著書に『協力のテクノロジー:関係者の相利をはかるマネジメント』(共著)など。

15:00～ パネルディスカッション

16:00～ 懇親会 軽食と飲み物 (ソフトドリンク・アルコール) をご用意いたします

17:00 終了

12/3 (日) (定員80人 事前申込先着制) ※参加費500円

13:00～ 市民団体活動発表 (50音順)

≪発表団体≫ あるけるミタカ研究所 / 量り売りとまちの台所「野の」 / マチコエココミュニティグループ
三鷹大沢わさびの復活を目指す取り組み / みたか子どもの食と未来を守る会 / 四中ゆないと

15:00～ だれでも大交流会 ～協働のこれからをみんなで語り合おう!!

軽食と飲み物 (ソフトドリンク・アルコール) をご用意いたします

どなたでも
参加OK!

17:00 終了

★市民活動団体の活動を紹介するパネル展示を開催

展示期間：2023年11月23日 (木・祝) ～2024年1月31日 (水)

会場：三鷹市市民協働センター 2階ホール

★市民活動団体の活動を紹介する冊子を発行

12月2・3日 (土・日) のイベントで配布します。

後日、市民協働センターにて希望者に配布します。

開催
しました

第6期 三鷹「まち活」塾開催報告(6~10回)

自分の想いを実現しながら、まちに豊かさと幸せを生み出すアクションを応援するための「第6期三鷹『まち活』塾(全10回)」が5月27日(土)からスタート、10月1日(日)に最終報告会で、受講者がまちで実現させるための「まち活」プランの発表を行い終了しました。幅広い年齢層の方が受講されており、その声をご紹介します。



講師：呉 哲煥
NPO法人CRファクトリー
代表理事

第6回 まちに飛び出すプランづくりⅠ 開催日：8月5日(土)

NPO・市民活動・サークル運営者向けのサービスを多数提供するNPO法人CRファクトリーの呉 哲煥さんにイベント運営に強くなる・楽しくなるイベントの企画・運営について教えていただきました。

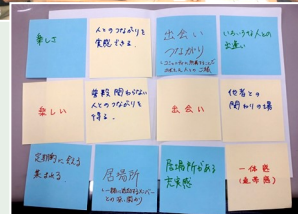
「受講生の声」♪ イベントの具体的な進め方がよく理解できた。♪ 紹介したくなるような「わくわく、お得感、満足感」を意識してイベントを企画したい♪ チーム全体を巻き込んで、同じ熱量でプロジェクトを進めていくには何が大事が分かった♪ 実際に企画運営のための6W3H設計で具体化し、最後は根性！が面白かった。



第7回 まちに飛び出すプランづくりⅡ 開催日：8月19日(土)

前回に引き続き呉 哲煥さんを講師にお迎えし、コミュニティマネジメントの基本理論～楽しくて活気ある活動・チームのつくり方～を教えてくださいました。

「受講生の声」♪ 自分がリーダーになったとき、頑固なこだわりがあったり、1人でタスクを抱え込んだり。チームメンバーの気持ちをくみ取りながら互いに楽しい気持ちで活動するために「相互理解」「メタ認知」をしていきたいと思った。♪ 共感を得ながら活動を作っていくよう、これから生かしていきたい。♪ 対話を継続していくことが重要だと思った。♪ 「お金以外の報酬」を大切に活動を考えていきたい。♪ 全体と個別やチームの状態をみれ、関わり方を試してみたいと思った。



第8回 自分にイコト×地域にイコトをデザインしてみよう 開催日：9月2日(土)

「地域コミュニティ⇄地域の仕事・活動」による地域づくりなどを行う株式会社エンパブリックの広石拓司さんを講師にお迎えして地域での仲間の増やし方、つながり方、新しい仕事のつくり方などの話をお聞きした後、「未来への変化のデザイン」を考えました。受講者のお一人がお茶を振る舞うティータイムもありました。

「受講生の声」♪ 潜在ニーズを見つけ出すには自分達だけで考えていたのでは分からないので、他団体とつながろうと思った。♪ 地域は多様、多様は可能性。内輪感を取っ払った広く開けた場所を作りたい。♪ 情報をインプットしながら対話を大切に活動したい。♪ 行動が変わると状態が変わる。一步踏み出す勇気を持ちたい。



講師：広石拓司
(株)エンパブリック
代表取締役



第9回 プランづくりワークショップ 開催日：9月16日(土)

最終報告会に向けて、「まち活」プランをブラッシュアップしました。

「受講生の声」♪ 最後の皆さんからの激励のメッセージが力になります。♪ 一人で頑張らず、みんなで活動する。頼ってよいことに安心を感じました。♪ ボランティアとは奉仕ではなく発見である、その通りだと思う。その気持ちを忘れずに活動したい。♪ 自立とは「依存先」を増やすこと、依存先を増やしたい。♪ 肩の力を抜いて、自分らしく活動したいと思う。♪ 自分が主催しなくてもサポーターでもいいんだと思って気が楽になりました。♪ 6期のみなさんの温かさ、お互いの活動を応援し合う心、一緒に作ろうという心。6期の皆さんと一緒にイベントをしたいです。



第10回 最終報告会 開催日：10月1日(日)

最終回は、市民協働センターで開催しました。受講生の最終報告の発表後、萩原なつ子さんの総評を伺いました。その後、20名の受講生に修了証が授与されました。歴代の修了生も駆けつけ、最後は交流会で賑やかな締めとなりました。

「受講生の声」♪ 一步をふみ出す勇気と知恵とメンバーシップをいただいた。講師のお話も素晴らしく、関心を広げることができた。♪ やわらかく、あたたかな雰囲気、仲間で楽しくわくわくと学ぶことができた。実行するのみ！♪ 仲間作りが一番の贈り物でした。



講師：萩原なつ子
独立行政法人国立女性
教育会館理事長



中学生職場体験の生徒さんを受け入れました

11月1・2日（水・木）の2日間、三鷹市立第三中学校2年生が職場体験に訪れました。

1日目の午前は、協働センターについてのレクチャーを受け、午後は駅周辺のフィールドワークと「チョコっとあっぷるーむ」のチラシ印刷を、2日目午前は井の頭1丁目町会会長の竹上さんから市民活動についてのお話を聞き、最後は今回体験し感じたことを記事にし、実際にニュースレターの最終ページを作ってもらいました。 ↓以下中学生作成記事

職場体験学習を通して考えたこと

三鷹市立第三中学校 2年

私は、三鷹市市民協働センターに職場体験に来て三鷹市民の方々と協働活動によって出来ている場所だと知りました。

元々私は、三鷹市市民協働センターについてよく知りませんでした。ですが、今回の職場体験を機に知ることができました。そこで、私が体験した事について書きたいと思います。

まず、一日目には見学をしました。普段やっている事の説明と施設見学、周辺見学、配布プリントの分別等が主にあった事です。周辺見学で、町開発による影響を自身の目で確認出来とても印象に残りました。

次に、二日目です。二日目は、井の頭一丁目町会が何をしているかの説明とこの作文を書きました。井の頭一丁目町会は、地域との交流の場を多く作っていたのが印象に残りました。

この様な事から、三鷹市市民協働センターは協働活動によって出来ている場所だと知りました。そして、私はこの場所がいつまでも続いて欲しいと考えます。

三鷹市立第三中学校 2年

僕は今回の職場体験を通して、今の日本にどのような問題があるのか、それに対して地域の人や施設の人達がどのようなことをしてどのような狙いがあるのか、協働センターや多世代交流センターなどがなぜあるのか、などを知ることができました。そして、僕たちでも始められる事があるということを知って、これからの事を考えようと思いました。

今、何個か例を挙げるとするならば、三鷹駅の中央通り商店街のシャッターに三鷹市立第四中学校の美術部がイラストを描いたり、市民が自由に使えるスペースを作ったりと、僕たち一般市民でもやろうと思えばできるものも調べればかなり出てきます。

今言った例以外にもまだまだたくさんボランティアなどがあり、おそらく皆さんが気になっているものもあると思います。そういうものがあつたら、1回でもやってみましょう。それで、自分が「おもしろい！」や「またやってみたい！」と思ったら、もう一度やってみたらいいでしょう。気になっているものがまだ何も無いときは、タイトルやサムネを見て決めるのも、極論、適当に選んでもいいと僕は思います。もちろん適当にはやらず、しっかりと真面目にやるのが最低条件ではありますが。

ボランティア活動は、まずは色々なものやってみて、自分がやりたいものをやるのが重要で、やりたくないものを無理にするのではいけない、せっかくの機会なのだから楽しんでやらなくてはならないと、僕は思います。

※本来であればもう一人居るはずでしたが、時間の都合上二日目が来られなくなり、さらに一日目の写真が撮れていないので二人のみのように見えますが実際は三人での学習でした。



↑ 私たちが話を聞いているときの様子



↑ 記事を書いているときの様子



↑ 使う写真を決めているときの様子

■町会・自治会へニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けいたします。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

Editor's note.

編集後記：異例の暑さで立冬の前日も25℃越えの冬感ゼロでした。その中で作成したこのニュースレターは秋号のつもりでしたがまさかの立冬、急遽冬号となりました。（ということで紙面は秋っぽくなってしまいました）。このところようやく冬を感じるようになり、一面でご紹介している12月開催の周年記念事業では厚手コートをお預かりするクロークも準備予定です。

◆ニュースレター配布場所◆

NPO法人子ども生活ゆめこうば、おむすびハウス、CafeHammock、グラナダ、ハローワーク三鷹、美容室TBK三鷹店、ファーマーズショップ根岸直売所、三鷹モダンタイムス、るま・ばぐーす、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、近隣市区の公共施設・市民活動支援センター

発行日：2023年11月15日

発行：三鷹市市民協働センター

（指定管理者：特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク）

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：https://kyodo-mitaka.org/

開館時間：9:00am-9:30pm 受付時間：9:00am-9:00pm

休館日：火曜日（祝日は開館し、直後の平日を休館とします。）

